

ふる里の川だより

No.3

慶佐次川自然観察会を開催しました！

開催
内容

開催日時：平成 28 年 11 月 27 日（日） 10：00～12：00

イベント内容： マングロープ内の自然観察・水質調査体験

参加人数：9名



当日はあいにくの雨模様でしたが、参加した方々は地元の貴重な自然を体感することができて、「とても楽しかった」と好評でした。



観察会ではマングロープ内の遊歩道を歩きながら、ガイドの方からヒルギの見分け方やそこに住む生物についての説明を受け、実際にオヒルギ、メヒルギ、ヤエヤマヒルギ、カニやミナミトビハゼなどを観察してもらことができました。

マングロープをまわった後は水質調査を体験してもらい、川の水を汲んできて水がどのくらい汚れているのかを検査しました。



ガイドさんからマングロープの生き物の紹介がありました。



ヒルギの見分け方も教えてもらいました。



マングロープの根のところに何かみつかったようです。



川の水と試薬を混ぜて、試薬の色の变化で水の汚れをチェックしました。



進行中の取り組み内容

● 生き物の生息場所を再生します！ (沖縄県が実施します)

慶佐次川下流域 (港原近く) において、生き物の生息場所を取り戻すために、淵の再生と水制工の設置による再生工事を実施します。(12月末に完成予定)

工事前の下流域の現状



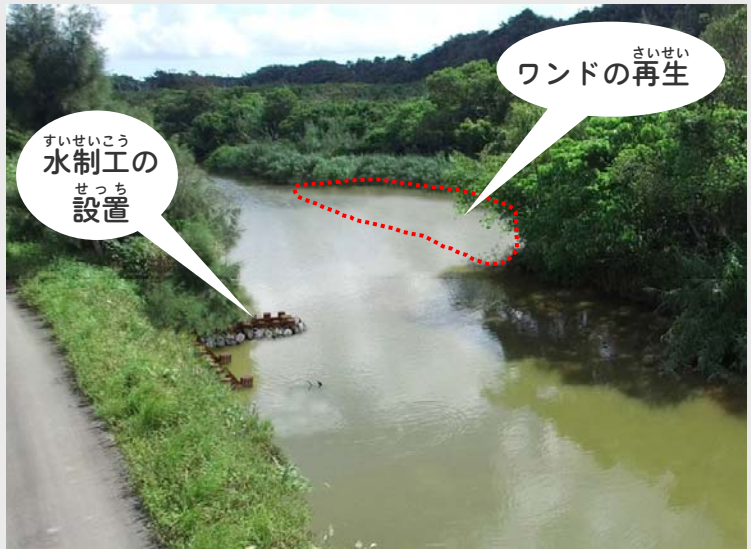
【ワンドの再生】

川岸を掘りこんで、深場をつくりまします。これにより、エビや魚のすみ家を再生します。

【水制工の設置】

整備したワンドが土砂で埋まらないようにするため、水制工を設置して水のながれをワンドの方に誘導し、ワンドにたまる土砂を押し流します。

慶佐次川下流域再生工事イメージ図



● ヒルギ林に侵入した外来植物の駆除を行います！ (東村が実施します)

ヒルギ林に侵入し、分布を広げている外来植物 (モクマオウなど)

の駆除を行っていきます。

これにより貴重なヒルギ林の生育環境が維持・保全されることが期待できます。



外来植物のモクマオウ



慶佐次川再生のための取り組みが新聞で紹介されました。



2016年12月15日付けの沖縄タイムス朝刊に、慶佐次川下流域の淵の再生や上流域での赤土対策などの活動内容が紹介されました。

今後の予定

第2回協議会の開催

開催時期：2017年1月末～2月始め頃

場所：慶佐次区公民館

内容：今後の取り組みやマングローブとの共存のあり方などについて会議を行います